

うたごえ はじ いちにち 歌声で始まる一日

副校長 佐藤 多佳子

市沢小学校では、毎月1回ミュージック広場という朝の音楽集会を行っています。全校児童が体育館に集まり、月の歌(毎月一曲決められた歌を各クラスで歌っています)を歌い、その後、その月の担当学年の合奏や合唱の発表をします。心を合わせたきれいな歌声や楽器の演奏で一日をスタートできる日となっています。

4月、第1回目のミュージック広場は「校歌」を歌いました。入学したばかりの1年生も一月練習を重ね、しっかり歌えるようになりました。5月の歌は「ゴーゴーゴー(運動会の歌)」です。運動会本番に向けて元気な声が響き渡りました。6月から学年の発表が始まります。トップバッターは6年生。合唱「明日への手紙」と合奏「アンダー・ザ・シー」を発表しました。7月は5年生、高学年が続きます。合奏「ルパン三世のテーマ」と合唱「COSMOS」を発表しました。9月は全員で月の歌「君をのせて」を歌いました。10月は3年生、区の音楽会に向けて練習したりコーダー奏「朝はモーツァルトが」と斉唱「勇気のマーチ」を発表しました。音楽会当日、公会堂での保護者の参観はできないため、本番同様のこの日の発表を多くの保護者の皆様が参観にいらっしゃいました。11月は2年生、合奏「山のポルカ」斉唱「あの青い空のように」を発表しました。12月は1年生、合奏「きらきら星」斉唱「歌えバンバン」を発表しました。学年発表の取りは4年生です。二分の一人成人式で披露する合唱「10才のありがとう」斉唱の「今日からはじまる」合奏「明日があるさ」を発表しました。どの学年も発表に向けて練習を積み重ね、緊張の中にも自信と達成感が感じられます。また、他学年の発表を見聞きすることは、鑑賞の学習にもなっています。学年発表の日の保護者の方の参観は早朝にもかかわらず大変多く、ミュージック広場は子どもたちのがんばっている姿を多くの方に見ていただけるよい機会となっているなあと感じます。

最後のミュージック広場となる2月は「感謝の会」です。今年は15日(木)8時30分から行います。子どもたちの登下校を毎日見守ってくださる地域の学援隊・見守り隊の皆様と、週3日来校して朝の読書タイムに読み聞かせをしてくださっているわくわくお話し広場の皆様をお招きして、感謝の気持ちを込めて二曲歌のプレゼントをします。曲名はお楽しみにしててください。

友達と心を合わせて歌う、歌で始まる一日が、子どもたちの心を育てています。保護者の方だけでなく地域の皆様も、ぜひ、子どもたちの歌声や合奏を聴きにいらしてください。